

KTQ-GX
Challenge 2050

北九州市、(公財)北九州産業学術推進機構[FAIS] 令和7年度 補助金、助成金 公募説明会

GX推進補助金

北九州産業学術推進機構(FAIS)
2025年4月

1 制度目的

2050年カーボンニュートラルを成長の機会と捉え、積極的にグリーントランスフォーメーション(GX)に取り組む企業のビジネスモデル変革や新ビジネス(新事業)創出の取組みを支援することにより、本市の地域企業の企業価値向上を図ることで投資を促進し、「稼げるまち」北九州市の実現を目指すことを目的とする。

2 対 象(抜粋)

- (1)北九州市内に事業所(本社、支店、営業所、工場等)を有する者であること。
- (2)北九州GX推進コンソーシアムに入会していること。
- (3)自社の温室効果ガスの排出量算定に着手していること。

3 期 間

単年度

4 補助対象事業

2050年カーボンニュートラルを成長の機会と捉え、自社の企業価値向上を図るために実施する、GX推進のための以下の各種取り組み

補助対象事業	補助額	交付上限額
(1) 自社製品・サービスのカーボンニュートラル化に向けた取り組み (2) 新商品・新サービス開発に係る取り組み (3) GX重点分野への進出に関する取り組み	補助対象経費の1/2以内の額	500万円

5 補助対象期間

公募開始日(5月1日)～令和8年1月30日

6 補助対象経費

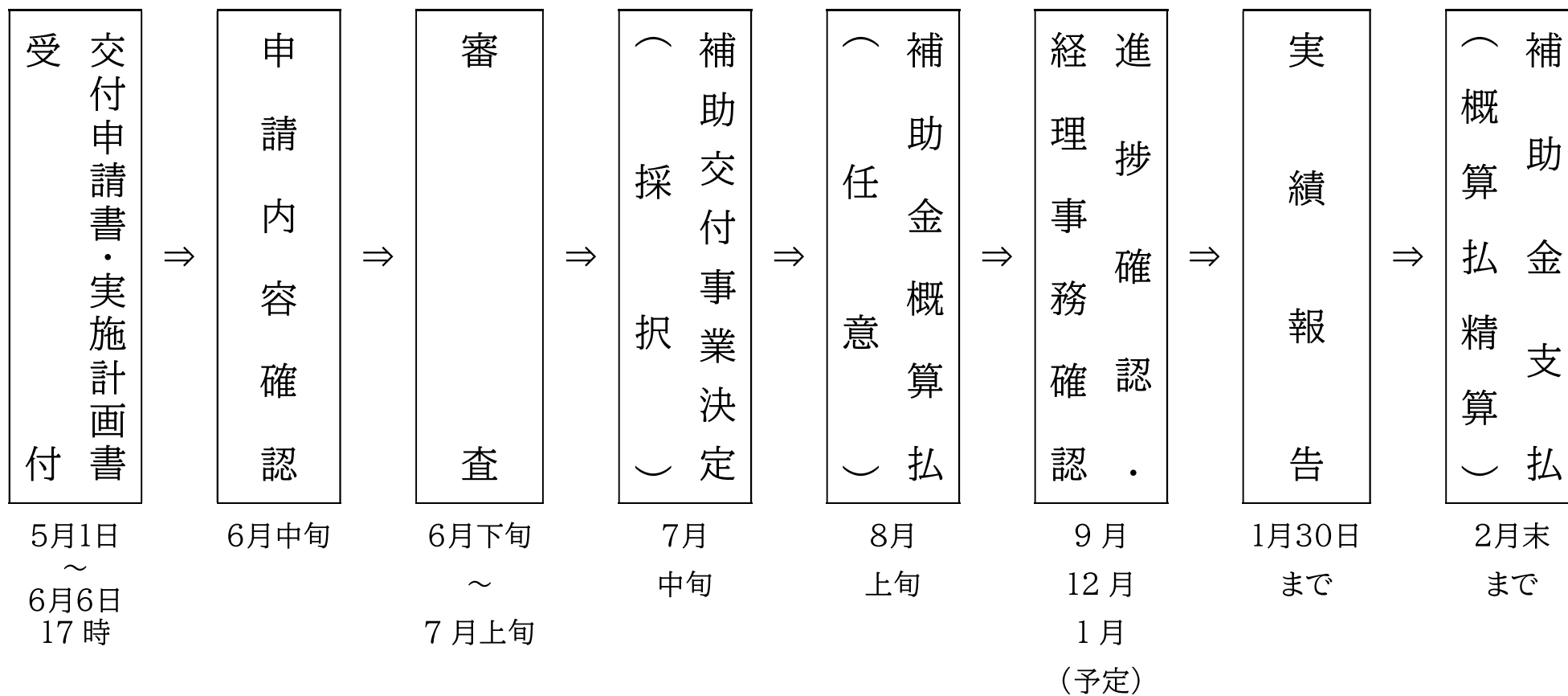
Ⅰ 物品費	1 土木・建築工事費
	2 機械装置等製作・購入費
	3 消耗品費
	4 保守・改造修理費
Ⅱ 労務費	1 従業員費
	2 補助員費
Ⅲ その他経費	1 旅 費(Ⅰ～Ⅲ合計額の20%以内)
	2 外注費
	3 知的財産権関連経費
	4 諸経費

7 審査のポイント

<計60点>

評価項目	審査基準	配点
①波及効果・インパクト	申請の取組が実施された場合に、GX推進に関する社会的波及効果・インパクトが大きいのか。	18点
②実施内容の妥当性	目標が明確であり、事業計画の内容は現実的かつ具体的か。	20点
	・実施体制・能力の妥当性	(5点)
	・実施体制に産学連携が含まれているか	(2点)
	・実施計画の妥当性	(7点)
	・予算項目の妥当性	(3点)
	・財政健全性	(3点)
③脱炭素への貢献	申請の取組がなされることで、最終的に温室効果ガスの削減につながる可能性が高いか・またその削減の意義は大きいのか。	8点
④補助金交付後の事業の持続可能性	本補助金の交付後も、金融機関・投資機関等からの資金を得て、事業を継続できる見込みがあるか。	10点
⑤地域社会への還元	将来的に市内経済への還元や地域の活性化に結び付くことが見込まれるか。	4点

交付の標準的なスケジュールについて



申請書の作成にあたってのお願い

- ◆様式第1号_別紙の10ページ以降の注意事項を確認の上、申請書を作成してください。
- ◆事業内容が容易に理解できるよう、ポイントを踏まえてわかりやすく記述してください。
- ◆専門用語については、できるだけ注釈を添えてください。
- ◆事業内容がイメージしやすくなるよう、写真、イラスト、グラフ、表などを利用して工夫して記載してください。また、記載内容を補記するため、資料を添付しても構いません。

- ◆申請書等の書類は、A4サイズ・PDF形式にして、FAISのGX推進部宛て(fais-gxsuishin@ksrp.or.jp)のメールアドレスに添付して提出してください。
- ◆提出された書類の修正や返却はできません。
- ◆当財団の電子メールの添付ファイルの容量は、1メールあたり15MB程度です。
電子メールに添付できないファイルサイズの場合は、以下のような提出方法でも構いません。
 - ・クラウドストレージを利用
 - ・ファイル転送サービスを利用
 - ・CD-R等の媒体に焼いて郵送